

## 令和6年度 第3回三鷹市スポーツ推進審議会 会議要旨

開催日	令和6年10月25日（金曜日）	時間	15：30～17：00
会場	三鷹市教育センター2階 第二中研修室 （オンライン併用）	傍聴人数	0人
出席者	助友委員、寺田委員、吉田委員、國澤委員、苔口委員、鈴木委員、安中委員、高柳委員、高橋委員、細川委員、相原委員、溝口委員、大鶴委員		
欠席者	屋敷委員		
行政	大朝スポーツと文化部長、平山スポーツと文化調整担当部長、二浦スポーツ推進課長、福田スポーツ推進課主査、橋本主事		
内容	<p>1 開会あいさつ（助友会長）</p> <p>2 開会（事務局）</p> <p>(1) 委員出席状況について 委員の出席状況は、委員定数14人のうち12人の出席により、委員の過半数が出席し、定足数に達していることから、本日のスポーツ推進審議会は有効に成立している。</p> <p>(2) 傍聴希望について 市民会議、審議会等の傍聴は、「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、原則として公開している。本日は、現時点で傍聴の希望はないが、希望があった場合、条例に基づき入場いただく。</p> <p>(3) 会議録の作成と公開について 三鷹市の市民会議、審議会等では、会議録を要録として作成し、公開している。会議の内容を録音し、会議録の原案を出席委員に確認のうえ、市のホームページと総務部相談・情報課にて公開を行う。</p> <p>3 議題</p> <p>(1) スポーツ推進計画2027【素案】について スポーツ推進計画2027【素案】について以下のとおり報告した。</p> <p>ア 目標数値</p> <p>(ア) 施策の達成度を測る指標（KGI） 週1回以上スポーツ活動を行っている市民の割合 【目標値65%】（令和4年度57.5%）</p> <p>(イ) 主要事業の達成度を測る指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市のスポーツ施設等の利用者数 目標値（令和9年度末）：1,300,000人 策定時（令和5年度末）：1,129,271人</li> <li>・「タッタカくん！ウオーク&amp;ラン」アプリ登録者数 目標値（令和9年度末）：10,000人 策定時（令和5年度末）：2,888人</li> <li>・スポーツイベント・教室等参加者数 目標値（令和9年度末）：100,000人</li> </ul>		

内 容	【目標値内訳】		
	子ども向け	51,500 人	
	成人向け	22,500 人	
	女性向け	19,750 人	
	高齢者向け	6,000 人	
	障がい者向け	250 人	
	策定時（令和5年度末）	95,924 人	
	・みたかスポーツサポーターズ登録者数		
	目標値（令和9年度末）	200 人	
	策定時（令和5年度末）	164 人	
	・スポーツフェスティバル・駅伝等のスポーツ協会及び地域スポーツクラブとの連携事業の参加人数		
	目標値（令和9年度末）	50,000 人	
	策定時（令和5年度末）	47,392 人	
	イ 基本目標と施策		
		基本目標	施 策
	1	スポーツに親しむ環境の充実	1 スポーツ施設のリニューアル
			2 スポーツ施設の安全かつ適切な管理運営
			3 学校体育施設の開放の拡充
			4 大学及び民間スポーツ施設等の活用
			5 健康・スポーツ情報の充実
	2	誰もが目的に応じて楽しめるスポーツライフの推進	1 スポーツを通じた継続的な健康づくりの支援
			2 子どもがスポーツを楽しむ機会の充実
			3 勤労世代、子育て世代がスポーツを楽しむ機会の充実
			4 高齢者がスポーツを楽しむ機会の充実
			5 障がい者スポーツの普及と障がいの理解の推進
	6 だれもがスポーツを楽しむ機会の充実		
	7 多様なスポーツを楽しむ機会の提供		
3	スポーツを支える人づくりとスポーツを通じたまちづくり	1 スポーツを支える担い手づくりとスポーツ団体等の活動の支援	
		2 小中学校との連携強化（スクール・コミュニティの充実）	
		3 スポーツ関係団体、地域団体、大学、民間企業等との連携強化	
		4 芸術文化、自然、観光資源等を活かしたスポーツ活動の推進	
		5 三鷹ゆかりのトップアスリートやプロスポーツチームの応援と連携の推進	
		6 東京2020大会等のレガシーの創造	

内 容	
	<p>寺田委員：スポーツ推進計画の第1次改定までは、基本目標は4つ設定されていたが、今回の計画では3つとなっている。「スポーツを通したコミュニティの創生」という目標の記載がなくなっているが、この目標がすでに達成されたため今回は記載していないのか。もしくは、他の目標に統合されたという認識で良いのか。</p> <p>二浦課長：目標が達成されたので記載していないということではなく、整理・統合を行い目標を3つ設定した。</p> <p>吉田委員：スポーツイベント・教室等参加者数が、策定時（令和5年度末）に95,924人の方が参加したという実績に対し、目標値（令和9年度末）を100,000人に設定している理由を教えて欲しい。5年で5千人増やすことを目標としているが、自然増加を予測できる範囲だと感じるため、目標値をもう少し上げて、達成させるための政策を考えた方がより有効的になるのではないか。</p> <p>二浦課長：目標値の設定の主な根拠は、スポーツと文化財団で開催している教室などになっているが、現状の人員体制でこれ以上定員を増やすことは厳しい。目標値の人数を増やす場合は、新たなイベントを考えなくては行けないが、そのための予算・人員を現状確保することは難しいと考えている。数値目標としては、現実的な目標を設定した。</p> <p>吉田委員：毎年10月に1回開催されているスポーツフェスティバルほどの大規模なイベントでなくても、小規模版のイベントなどを複数回実施することで、スポーツや運動を行う人を増やすことはできないのか。</p> <p>平山調整担当部長：正確な数字は今手元にないが、スポーツ教室の定員の充足率は85%程度だったと記憶している。スポーツ教室の枠を増やすことになると、一般登録団体やスポーツ協会、地域スポーツクラブの皆様が大会等にご利用いただいている枠との関係もあるので、現実的にはなかなか難しい。また、スポーツフェスティバル等の大規模なイベントの参加人数は、多くの市民の方々に影響を及ぼす指標となっているため、実績人数と目標人数にあまり差をつけることができないということもある。</p> <p>現在の職員体制では、小規模なイベントを今以上に実施することは難しいため、事業形態を工夫したり、新たにボランティアの方達に支援していただくような機会を検討したい。</p> <p>鈴木委員：令和9年度末のスポーツイベント・教室等参加人数について、高齢者向けの目標値は6千人としているが、高齢化率を踏まえて算出しているのか。また、子ども、成人、女性の方の目標数値も三鷹市全体の何%なのかなどの内訳も合わせて、どのように算出したのか知りたい。この審議会でも話題になっている勤労世代をターゲットにするのは分かるが、医療費との関連も含め高齢者へのアプローチは非常に重要な課題になってきている中で、高齢者向けの目標値は6千人という数字はどのようなイメージになるのか。</p> <p>二浦課長：目標値については、令和5年度の実績を基に現実的な数値を設定したが、社会的事情も踏まえて、再度検討したいと思う。</p>

内 容	<p>鈴木委員：今回の策定時に反映しなくてもよいので、今後策定した計画を見直すタイミングなどで、臨機応変に対応してもらえれば良いかなと思う。</p> <p>大朝部長：今回の策定で算出している目標数値は、市として把握可能な現実的な数値としている。それは、スポーツ施策として実施する数値であり、多少限定的になっていると感じている。他の委員からも、体育館などのスポーツ施設を使用したスポーツ活動だけではなく、生活の中でのスポーツ活動を行っている人はいるという話を事前にいただいていたが、それも広い意味でスポーツ実施率に含まれていると考えている。</p> <p>ご指摘のあった高齢者の数値は、他部署が実施している高齢者向けの運動教室などもあるが、スポーツ推進課が直接的に把握している数値ではないため、スポーツ推進計画として算出している数値には含めていない。幅広い意味でのスポーツ実施率となると、他部署でも実施されているスポーツ活動も含めるべきだが、現状ではまだ把握に至るまで到達していない。今後、どのような実績を市として把握したうえで、次の計画に反映させていけばよいのか、データ収集を行っていききたい。</p> <p>相原委員：私からは2点提案がある。1点目は、誰もが運動しやすい環境づくりという観点から。局所的に見ると市内には大沢総合グラウンドなど運動するための施設は整っているが、市全体として見た時に、自然と運動をしたいと思わせる仕掛けがあると良いと感じた。特に、勤労世代などは時間的制約があるため、ウォーキングが1番気軽にできると思う。そこで、例えば消費カロリー等が視覚的に見える案内板を設置したり、街中に掲載したQRコードを読み込むと「タッタカくん！ウォーク&amp;ラン」アプリがダウンロードできるようにしてみてもどうか。誰もが自然と運動できるような仕掛けづくりなど、市全体でのスポーツに対する環境づくり・街づくりの視点があると、スポーツが根ざすまち三鷹としての価値をより高められると考える。</p> <p>2点目は、医療従事者の目線から病気になる前の健康予防の大切さを実感している。勤労世代はイベントを実施してもなかなか参加できない可能性が高い。そこで、企業と連携して体力測定などを企業内で実施してもらい、将来的にはそのような取り組みを行う企業認定制度を設けるなど、企業側にもメリットがあるような形を取ることができると良いと考える。</p> <p>平山調整担当部長：1点目のまちづくりの視点については、三鷹駅前デッキ階段に消費カロリーを掲示し、利用者が楽しく階段を登れるように工夫する取り組みを進めている。また、1周何百メートルあるのか距離を掲示している公園もあるので、このようなハード面に大きな予算をかけなくても実施できるようなまちづくりの視点を盛り込みながら、具体的な事業に取り組んでいきたい。</p> <p>2点目の企業との連携については、ご提案いただいた健康体力相談事業のほか、三鷹市と関係が深い勤労者団体を中心に「タッタカくん！ウォーク&amp;ラン」アプリをPRして実際に会社内で使用してもらうことも検討していきたい。また、いくつかの企業がSUBARU総合スポーツセンターを利用し、健康診断や体力測定を単独で実施しているので、そのような企業と繋がり</p>
-----	--

<p>内 容</p>	<p>を作ることも重要だと感じている。</p> <p>安中委員：スポーツフェスティバルに参加したが、一般向けにボッチャやモルックの道具の貸出があれば良いと感じた。また、参加者の年齢層について、中学生から大学生くらいの人たちはほとんど見かけなかったのが、少し残念だった。</p> <p>計画の素案については2点提案がある。1点目は、学校や仕事で忙しくてスポーツや運動をする時間がないというアンケート回答が1番多い中で、週1回以上スポーツ活動を行っている市民の割合を65%に引き上げるためにオンラインのスポーツ教室などを開催することは、時間がない人やSUBARU 総合スポーツセンターなどから離れたところに住んでいる人も利用しやすいのではないかと考える。</p> <p>2点目は、ハード面については井ノグラウンドの整備や大沢総合グラウンドのリニューアルが行われるとのことだが、施設のソフト面を充実させて欲しい。例えば、三鷹市のホームページで施設の情報等を集約し、市民が行いたいスポーツや使用したい施設が簡単にアクセスできるような仕組みを構築してほしい。</p> <p>二浦課長：まず、ボッチャやモルックについては、市民の方やスポーツ団体への貸出は可能なので、スポーツ推進課にお問い合わせいただければと思う。</p> <p>ご提案いただいた1点目のオンラインスポーツ教室については、スポーツと文化財団で取り組みを進めているところである。また、2点目の情報発信関連については、市全体的な課題として、色々と情報発信を行っているものの市民の元まで情報が届いていないという現状があるため、スポーツ分野や生涯学習分野の一覧化・一元化ができるように検討しているところである。</p> <p>助友会長：情報発信は全庁的な取り組みということで、何かの折にスポーツ推進審議会の意見も伝えて欲しい。</p> <p>細川委員：計画の基本目標に「スポーツを支える人づくりとスポーツを通じたまちづくり」の記載があるが、「まちづくり」という文言にはハード面も含めて幅広い意味があるので、言葉の定義の説明文を追記すると分かりやすいと感じる。この計画の中の「まちづくり」という言葉の意味が、笑顔と活気あふれる街の活性化状態を指すのであれば、言葉の定義の記載があることでハード面の話と勘違いされなくなると思う。</p> <p>高柳委員：情報発信関連について、運動習慣がない女性に対しての運動プログラムの紹介について、どのような形でターゲットにアプローチすることを考えているか。</p> <p>平山調整担当部長：スポーツと文化財団で提供しているスポーツ教室のホームページやチラシについて、女性が気軽に取り組めるプログラムと一目で分かるような文言の記載等を行いたいと考えている。また、SNS等を活用した情報発信については、スポーツに関連するワードなどを事前に登録することで、スポーツ関連のイベント開催通知等を個人の方に情報提供するようなプッシュ型の発信ができるよう工夫して取り組んでいく。</p> <p>寺田委員：「タッタカくん！ウオーク&amp;ラン」アプリの使い方が分かりにくいところ</p>
------------	--

があるので、メニュー等に使用方法を記載するなどの工夫も必要になるのではないかと。また、先ほどから話題になっている情報の集約化という部分について、「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリの登録者数を増やして多くの人に使用してもらうことを目標としているのであれば、このアプリに他のイベントや施設の情報を集約するのも良いのではないかと。このアプリをダウンロードして開けば、他のスポーツ関連情報もまとめてすべて分かるというような仕組みがあると良い。

助友会長：これに付随した確認となるが、ロジックモデルの下位の内容は、この計画の中には記載はしないのか。

二浦課長：アプリに関しては、一部のスマートフォン端末については使用しにくいとユーザーからの声も届いているので、そのような不具合等については解消していきたい。アプリ内のスポーツ情報の集約については、みたか地域ポイントアプリ内で「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリを紹介したことにより、ダウンロード数が伸びたという状況もあったので、今後も様々なコンテンツを増やせるような工夫を行っていきたい。

なお、ロジックモデルの下位部分の具体的なアウトプットについては、この計画の中には記載しないが、下位部分の実績数値などについても集計し、施策の進捗の把握等に努めていく。

#### 4 報告

##### (1) 事業予定

10月31日(木) 小学3年生ラグビー体験(横河武蔵野アルテミ・スターズ)

11月3日(日) 新川テニスコートオープン50周年無料開放

11月24日(日) 第33回三鷹市民駅伝大会

11月26日(火) 小学4年生ラグビー体験(横河武蔵野アルテミ・スターズ)

##### (2) スポーツ推進審議会日程

第4回 令和7年2月14日(金)

※三鷹市議会の日程により、変更が生じる可能性があります

#### 5 閉会あいさつ(寺田副会長)